

令和元年度 一般会計等財務書類4表を公表します

笠松町一般会計等財務書類4表について、すべての地方公共団体に適用される総務省の「統一的な基準」に基づき作成しましたので公表します。

一般会計等財務書類4表とは、町の普通会計の資産や負債、行政コスト、資金収支の状況を明らかにするものです。

貸借対照表(バランスシート)

令和2年3月31日現在 (単位:千円)

決算期末の財政状態を明らかにするためのものです。
左側の資産の部は、これまでに取得した財産の総額を記載し、右側には資産を形成する際に要した財源の調達状況を表わしています。

資産の部		負債の部	
1. 有形固定資産 (公共資産)	10,126,927	1. 固定負債 (将来の負担)	7,012,113
2. 投資など	708,232	2. 流動負債 (来年度の負担)	634,079
基金(特目)など	585,287	負債合計	7,646,192
出資金・その他	122,945	純資産の部	
3. 流動資産	1,153,209	純資産合計	4,342,176
預金	415,473	純資産合計 (これまでの世代の負担)	
基金など	704,316		
未収金・その他	33,420		
資産合計	11,988,368	負債・純資産合計	11,988,368

行政コスト計算書

経常的な費用と収入

[自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日] (単位:千円)

行政サービスに費やされた費用(コスト)と、その行政サービスに対する直接の対価(使用料など)を表わしたものです。
経常行政コスト合計から経常収益合計を差引いたものが純経常行政コストとなります。

経常費用		
1. 人にかかるコスト	人件費など	869,040
2. 物にかかるコスト	物件費、減価償却費、維持補修費など	1,891,716
3. その他のコスト	支払利息など	66,137
4. 移転支出的なコスト	社会保障給付、補助金など	3,288,278
合計		6,115,171
経常収益		
使用料・手数料、事業収益など		236,162
純経常行政コスト		5,879,009
臨時損失など		71,756
臨時利益など		0
純行政コスト		5,950,765

純資産変動計算書

純資産の増減

[自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日] (単位:千円)

資産と負債の差額である純資産の1年間の変動内容を表わしたものです。

期首純資産残高		4,337,289
純行政コスト		△5,950,765
税金など	町税、地方交付税など	4,631,267
国県等補助金	国県補助金など	1,313,077
その他	資産評価差額による変動など	11,308
期末純資産残高		4,342,176

資金収支計算書

現金の動き

[自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日] (単位:千円)

1年間の資金の動きを明らかにする計算書です。
業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支に分けて表わしています。

期首資金残高		464,724
1. 業務活動収支	(収入) 町税など(支出) 人件費・社会保障給付など	233,552
2. 投資活動収支	(収入) 国県補助金など(支出) 公共施設整備費など	△234,543
3. 財務活動収支	(収入) 地方債発行収入など(支出) 地方債償還費など	△110,364
当期収支		△111,355
本年度末歳計外現金残高		62,104
本年度末現金預金残高		415,473

※財務書類4表(一般会計等・全体会計・連結会計)の詳細は、町ホームページと役場1階の行政情報コーナーで公表しています。